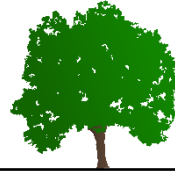




# くすのき



令和5年(2023年) 6月26日

文責:校長

## 夏至の候、



6月も終わりに近づき、もうじき1学期の最終月の7月を迎えます。今年、6月21日(水)が夏至、つまり一年で一番お昼が長い日でした。昔は、今よりも田植えの時期が遅く、ちょうどこの夏至の時期(梅雨の真ただ中)に行われていました。そのため、関西地方では、作物が大地にしっかり根を張るようにと、タコを食べる習慣があったようです。(タコの足の吸盤が由来だそうです)



昨今の気候変動のため、季節の行事の時期が変わったり、日頃の気温や湿度の上昇が私たちの生活に大きな影響を及ぼしています。

学校でも暑さ対策等、子どもたちの健康・安全に十分配慮し、熱中症などの事故防止のために、以下のとおり、対応してまいります。ご家庭や地域の皆さまにおかれましても、引き続きご理解・ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

### 1. 持ち物について

<p>(1) 必ず持ってくるもの</p> 	<p>①水筒 ◇ご家庭で相談していただき、十分な量のお茶・水・スポーツドリンク等を用意してください。2本以上もってきてもらいません。 ◇やむを得ず、持参した量が不足した場合は、500ml程度のペットボトルのお茶を1本お渡しします。翌日以降に、学校へ同等品をお返しください。</p> <p>②汗拭きタオル ③黄帽、体操帽</p>
<p>(2) 登下校時に使用してよいもの</p> 	<p>①日傘 ②濡らして首に巻くような保冷ベルト ③濡らしたタオル ④保冷剤 ◇いずれも壊れたり、紛失しても困らないものにしてください。個人の責任として必ず名前を記してください。学校では管理しません。</p>
<p>(3) 持ってこないもの</p>	<p>①うちわ ②扇子 ③携帯用扇風機 ④冷却スプレー等</p>

○校外で長時間活動する際には、担任から「熱中症予防のための準備」等、別途連絡させていただくこともあります。ご了承ください。



### 2. 熱中症対策

#### 《施設や準備物》

場 所	対策の内容
(1) 教室・特別教室	①冷房中においても、適宜換気を行います。 ②室内の空気を循環させるため、扇風機を活用します。
(2) 体育館	①スポットクーラーを設置します。
(3) 運動場	①テント等を設置し、日陰を設けます。 ②トイレ付近の樹木を利用し、簡易ミストシャワーを付け、気化熱を利用して体温上昇を防ぎます。

(4) 職員室	①「熱中症対策グッズ」を準備し、体育や校外での活動時には活動場所に持参します。 ◇「熱中症対策グッズ」とは、クーラーボックス内に ・冷却剤 ・経口補水液 ・食塩 ・体温計 ・紙コップ ・うちわ ・タオル ・霧吹き ・氷 等を収納しているものです。
---------	--

### 《子どもたちへの指導》

対応者	対策の内容
(1) 学級担任(授業者) 	①子どもたちの健康状態をこまめに把握するように努めます。 ②子どもたちには、体調不良時にはすぐに教員やまわりの友だちに伝えるよう指導します。熱中症のサインについても、指導します。 ③熱中症情報の測定値等を参考にしますが、値のみを過信せず、子どものようすや体感温湿度により適切な対応をします。 ④授業前後の水分補給を行い、活動の途中でも随時休憩・給水を取り入れながら、無理のない運動や学習を心がけます。 ◇体育科等の学習では、15分ごとに1回程度、「給水・休憩タイム」を設けます。 ⑤場合によっては、屋外での活動を見合わせる等の対応を取ります。
(2) 校長・教頭 ・教務・養護教諭 	①毎日、学校の校庭や体育館の暑さ指数(WBGT)を計測します。 ②毎日、暑さ指数については「環境省熱中症予防情報」より確認し、実測値・予想値については、職員に周知します。 ③熱中症情報について、校内掲示板で知らせたり、校内放送で注意喚起します。 ④環境省や日本スポーツ協会が示す「熱中症予防のための運動指針」に則って対応するよう、職員に周知します。

○場合によっては、校舎外での活動を変更したり、中止する場合があります。子どもの安全を第一に対応いたしますので、ご理解の程よろしくお願ひします。

### 3. 暑さ指数(WBGT)と学校の対応


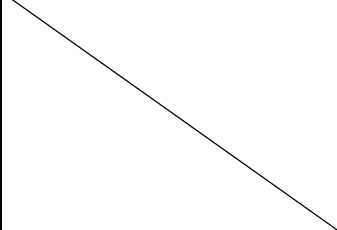
#### 暑さ指数(WBGT)とは

人体と外気との熱のやりとり(熱収支)に着目した指標で、人体の熱収支に与える影響の大きい

①湿度 ②日射・輻射(ふくしゃ)等周辺の熱環境 ③気温 の3つを取り入れた指標です。

単位は気温と同じ摂氏度(°C)で示されます。労働や運動時の熱中症防止に用いられます。

暑さ指数(WBGT) 乾球温度(目安)	日常生活における熱中症 予防指針(日本気象学 会)	熱中症予防のための運動 指針((公財)日本スポー ツ協会)	学校生活を安全に過ごす ために
<b>WBGT31°C以上</b> 乾球温度35°C以上  <u>危険(運動は原則禁 止)</u>	外出はなるべく避け、涼しい室内へ移動する。	特別な場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合には注意すべき。	体育などの運動は中止。屋外や体育館での活動は、中止または活動時間の短縮。

<p><b>WBGT28~31℃</b> 乾球温度31~35℃</p> <p><u>嚴重注意(激しい運動は中止)</u></p>	<p>外出は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。</p> 	<p>熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。運動する場合には、頻繁に休憩をとり、水分・塩分の補給を行う。体力の低い人、暑さに慣れていない人は運動中止。</p>	<p>激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は原則中止。なお、健康チェックや水分・塩分補給など健康管理を徹底し、練習内容、場所、時間、服装などに配慮したうえで活動することが可能。体力等個人の条件、体調を考慮し、運動を軽減、中止する。</p>
<p><b>WBGT25~28℃</b> 乾球温度28~31℃</p> <p><u>警戒(積極的に休憩)</u></p>	<p>運動や激しい作業をする際は定期的に十分に休憩を取り入れる。</p>	<p>熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり、適宜水分・塩分を補給する。激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。</p>	<p>積極的に休憩をとる。激しい運動の場合は、30分おきに1回以上の休憩をとるとともに、水分・塩分を補給する。</p>
<p><b>WBGT21~25℃</b> 乾球温度24~28℃</p> <p><u>注意(積極的に水分補給)</u></p>	<p>激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。</p>	<p>熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。</p>	<p>運動の合間に積極的に水分・塩分補給を行う。</p>
<p><b>WBGT21℃未満</b> 乾球温度24℃未満</p> <p><u>ほぼ安全(適宜水分補給)</u></p>		<p>通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要である。市民マラソン等では、この条件でも熱中症が発生するので注意。</p>	<p>適宜水分・塩分補給を行う。</p>

## 学校運営協議会 (コミュニティ・スクール志津)

学校運営協議会とは、学校の運営等への支援に関して協議する機関で、令和5年度志津小学校も学校、保護者および地域の方々との組織的かつ継続的な連携と協働体制を確立し、学校運営の充実を図ることを目的とし、年4回開催いたします。なお、協議会の協議内容については、その都度HPに掲載しますので、ご確認ください。

- 実施日 第1回： 6月13日(火)
- 第2回： 9月12日(火) [予定]
- 第3回： 12月12日(火) [予定]
- 第4回： 2月20日(火) [予定]



- 学校運営協議委員
- 熊谷 一恵 様 (志津小学校PTA会長)
- 奥村 次一 様 (まちづくり協議会会長)
- 寺尾 信一 様 (スクールガード・ボランティア)
- 宮城 成和 様 (学校教育ボランティア)
- 山本 清子 様 (主任児童委員)
- 井戸 静代 様 (地域コーディネーター)
- 寺尾 孝男 様 (民生児童委員協議会会長)

1年間、よろしくお願いいたします。